

●大阪公立大学都市経営研究科講義「自然な農と食を活かした地域活性化」が番組になりました。

YouTubeで配信中です。QRコードから観ることができます。公開シンポジウム(前編) (後編)



東京都練馬区から広がる都市農業(写真上)、今治市「さいさいきて屋」完熟イチゴのタルト(写真右)

(制作・うじてれび ディレクター・森田肇哉)

前編 <https://youtu.be/VTW-NfgQBQg> (24分) 後編 https://youtu.be/-NgBXMJx_S4 (28分)

●東海農政局シンポジウム(第17回食育推進全国大会 in あいち)公開中。

☆基調講演: 一般社団法人アグリフューチャー・ジャパン 合瀬 宏毅 理事長

☆講演・パネルディスカッション: 食環境ジャーナリスト 金丸 弘美氏

カゴメ株式会社 代表取締役社長 山口 聡氏/ 女子栄養大学名誉教授 金田 雅代氏

株式会社日本総合研究所 藻谷 浩介氏/ 日本料理店「一灯」料理長 長田 勇久氏



<https://www.syokuikutaikail7th-aichi.jp/archive/>

●「食育で育む未来の町づくり」YouTube配信 (制作: 京都府宇治市&うじてれび)



(左・高知県土佐市、右・兵庫県豊岡市) <https://www.youtube.com/watch?v=-ztpU9TX8J8>

●WAN サイト連載「金丸弘美のニッポンはおいしい!」。農業と食の現場で活躍する女性を紹介。上野千鶴子先生(東大名誉教授)理事長の(認定 NPO 法人ウィメンズ・アクション・ネットワーク)。最新号は、千葉県いすみ市「高秀牧場」馬上温香さん。ジェラート店とチーズ工房を運営。



<http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/yotei/yoteidetail.php?&no=768&a=2017>

●住生活産業総合雑誌「ハウジングトリビューン」

第2・第4金曜日発行 隔週連載「金丸弘美レポート」 45回目。

古民家利用「農村観光」、民家や庁舎のリノベーションによる地域の取り組みを紹介。

<https://htonline.sohjusha.co.jp/rensai/kanemaru-report/>



これまでの連載のバックナンバーはQRコードから観ることができます。

(写真は、栃木県益子町「道の駅ましこ」。地域マネジメントを実践したトップ事例)

●食の雑誌「味の味」(アイディア)でエッセイ「地食が面白い」隔月連載中。雑誌はHP掲載の飲食店に置いてあります。2023年4月号は「料理家・成澤文子さんの美味しさと楽しさが詰まった食の会」。

料理家・管理栄養士として活躍中の成澤文子さんに招かれて素敵な料理を堪能。



「味の味」ホームページ <http://ajinoaji.com/>

●「月刊 NOSAI」(全国農業共済協会)「農と食で高める地域の力」 連載中

4月号「果樹栽培とジビエ加工販売を連携 和歌山県田辺市・日向屋の経営戦略」



http://www.nosai.or.jp/nosai_kasou/syuppan.html

●世界自然遺産に登録奄美諸島・徳之島。家族が暮らした9年間の出来事と人との出会いを描いたノンフィクションエッセイ。「ゆらしい島のスローライフ」金丸弘美著(学研)

絵:唐仁原教久、写真:阿部雄介 推薦:小泉武夫氏



<http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/book/bookdetail.php?no=1118&a=1>

●「地方創生」を支援する国の人材派遣事業。

国の人材派遣事業:金丸弘美は登録されており、国の制度で現地にかがうことができます。

●総務省の人材派遣事業 総務省地域力創造アドバイザー

年間5回以上の派遣。現地にかがいがい、1年間を通じ地域の課題を一緒に取り組んでいく制度。市町村が独自に予算をたて総務省に登録の金丸弘美を要請した場合、かかった費用は地方交付税で補てんされる制度。オンラインでのアドバイスも可能。

<https://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/>



●内閣官房の伝道師派遣制度 内閣官房地域活性化伝道師

地域アドバイスを実施するもの。内閣府からも担当者がきます。現地の取り組みを観て、地域の方に集まっていたいただき、各地の事例や、今後の展開を協議するもの。

1、3回にかがうこととなります。費用は内閣府から出ます。

内閣府 地域活性化推進事務局 <https://www.chisou.go.jp/tiiki/ouentai.html>



●エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク(略称:エネ会議) <https://enekei.jp/>

メルマガで特別インタビュー配信。QRコードから読むことができます。

<https://enekei.jp/mmz/mailmagavol205.html>

【地域経済循環について エネ経会議アドバイザー・金丸弘美氏に聞く】



(写真は、環境都市・ドイツ・フライブルグ)

●【金丸弘美 特別寄稿】もっと先の未来への歩み(合同出版) WEBで連載配信中です。



(写真は、イタリア・エミリア＝ロマーナ州のアグリツーリズム)

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n34930.html>

■絶賛発売中 「地域の食をブランドにする！ 食のテキストを作ろう」



岩波ブックレット(岩波書店) 金丸弘美著 本体 620 円(税込み 670 円)

<http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/book/bookdetail.php?no=209&a=1>

「読売新聞」「日本農業新聞」など11メディアで紹介されています。

金丸弘美の好評の食と地域づくりの本



『田舎力 ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』(NHK 生活人新書) 15刷り

『食にまつわる55の不都合な真実』(ディスカヴァー携書) 3刷り

『田舎の力が未来をつくる!ヒト・カネ・コが持続するローカルからの変革』(合同出版)

『幸せな田舎のつくりかた 地域の誇りが人を繋ぎ、小さな経済を動かす』(学芸出版) 4刷り

『里山産業論 「食の戦略」が六次産業を超える』(角川新書)

『タカラは足元にあり! 地方経済活性化戦略』(合同出版)



『実践! 田舎力ー小さくても経済が回る5つの方法』(NHK 新書)

『えんやー写真集・唐津くんち』(家の光協会)

『給食で育つ賢い子ども』(ソトコト新書)

『美味しい田舎のつくりかた：地域の味が、人をつなぎ、小さな経済を耕す』(学芸出版)

『地域ブランドを引き出す力』(合同出版) 味覚講座から地域ブランドまでノウハウを満載

『創造的な食育ワークショップ』金丸弘美著（岩波書店） 表紙・矢吹申彦



<http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/book/bookdetail.php?no=149&a=1>

「味覚のワークショップ」の計画立案から具体的な進行の仕方、食材のテキストやワークショップの作り方、目的別の事例を紹介。食育が地域の特産品作りと町の個性を生む。食をテーマにした町おこしやブランド作りを紹介。総務省で注目され「地方創生」のモデルとなった一冊。イタリア・スローフードの現地レポートから国内各地の具体的な活動と実践。

●東京から和歌山県田辺市龍神村に家族で移住。長男・知弘の実践活動が出版。好評です。

『子育て世代のための 快適移住マニュアル』

「知っておきたい、田舎でできる仕事・お金・子育て・地域のおつきあい」

金丸知弘著 出版社:誠文堂新光社

<http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/book/bookdetail.php?no=212&a=1>



「生島ヒロシのお早う一直線」「紀伊民報」など 31 メディアで紹介。

●高知県観光特使 NHK 連ドラ「らんまん」は高知出身・牧野富太郎博士がモデル。

QR コードから跳べます。●「牧野博士の新休日」<https://kochi-tabi.jp/makino-expo/>

高知県観光特使

金丸 弘美

食総合プロデューサー

〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田1-2-2・1200
大阪駅前第二ビル12F 角川書店
tel. 06-6348-0357
fax. 06-6348-0356
E-mail: kanamaru.hiromi@cameo.plala.or.jp

高知県観光振興部観光政策課おもてなし室
Tel.088-823-9609 Fax.088-823-9256

牧野博士の
新休日 高知
Dr. Makino's New Holiday in KOCHI

令和5年 3/25(土)
令和6年 3/31(日)

高知県観光
博覧会開催!

高知県観光施設等無料入場券

ご利用について ●各施設1回限りとし、5名まで無料で入場可能。(6名以降の入場料は有料となります。)
●団体・グループでのご利用は1枚限定(例:10名で2枚使用はできません)
(ただし、高知県以外に居住の方のみ ※職員が確認させていただく場合があります。)

●高知城(懐徳館) 088-824-5701	●北川村「モネの庭」マルモッタン 0887-32-1233
●高知県立美術館 088-866-8000	●安芸市立歴史民俗資料館 0887-34-3708
●高知県立文学館 088-822-0231	●高知市立自由民権記念館 088-831-3336
●高知県立坂本龍馬記念館 088-841-0001	●桃山陸一記念まんが館 088-883-5029
●高知県立歴史民俗資料館 088-862-2211	●本山町立大原富枝文学館 0887-76-2837
●高知県立牧野権物館 088-882-2801	●越知町立横倉山自然の森博物館 0889-26-1060
●高知県立足高海洋館 0890-85-0835	●海のギャラリー 0890-85-0137
●高知県立いのち動物公園 0887-58-3500	●海洋堂ホビードーム 0880-29-3355
●キラメッセ高知 館内 0887-25-3377	●高知県立高知城歴史博物館 088-871-1600
●中殿慎太郎館 0887-38-8600	

●お申し込みいただく際には、事前に特設 休館日を各施設にお知らせをお願いします。
●特別展等の入場は、別途入場料が必要場合がございます。
●入場無料施設について、要問い合わせる場合がございます。
●名刺を金券として取り扱うことはご遠慮ください。●1枚で1日施設すべてを使用することができます。
●有効期限が切れたものはご利用いただけません。

有効期限
令和5年3月31日まで

●高知県観光特使の名刺です。名刺の裏に記載された高知県内の牧野植物園、坂本龍馬館、高知城など20か所で5名まで無料で入場できます。お会いした方に差し上げています。

●名刺のことは有川ひろさんの100万部のベストセラー「県庁おもてなし課」(角川書店)に登場。巻末に座談会、有川ひろさん、県庁職員、金丸弘美が収録されています。

●「県庁おもてなし課」(現在、おもてなし室)は高知県庁に実在します。



「県庁おもてなし課」有川ひろ著(角川書店)表紙(QRコードは金丸弘美のホームページです)

高知出身の植物学者・牧野富太郎博士はNHK連ドラ「らんまん」モデル。

東京都練馬区に住んでいたことから高知県と共同キャンペーンが展開中。



https://shinagawa-kanko.or.jp/recommended_route/ryomameguri/

阪本龍馬ゆかりの地を巡る「しながわ観光協会」

品川区は平成30年、明治維新150年を契機に歴史的にゆかりがある高知県と「特別区全国連携プロジェクト」の一環として連携・協力に関する協定を締結しています。